

2024年11月27日
成協信用組合
株式会社日本政策金融公庫
東大阪支店 国民生活事業

大阪公立大学発ベンチャー「株式会社イロラボ」に 日本政策金融公庫と成協信用組合が協調融資を実行

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）東大阪支店国民生活事業は、株式会社イロラボ（本店：大阪市住吉区、代表取締役：酒井英樹）に、成協信用組合（本店：大阪府東大阪市、理事長：大村佳三）と協調融資を実行しました。

同社は、大阪公立大学発ベンチャー企業で「人の眼に代わる測色技術により、完全なデジタルアーカイブ化とオンライン化を実現すること」を事業としています。

関西の大学・産業界・金融界・自治体等 70 以上の機関が参画する「関西スタートアップアカデミア・コアリション（KSAC）」の 2021 年度の起業活動支援プログラムに採択され、注目を集めた技術シーズに基づき 2024 年 6 月に創業しました。今後、国内外での活躍が期待されます。

日本公庫と成協信用組合は、同社の新規性や優位性、成長性を高く評価し、今後の開発、営業活動に必要な資金について融資を実行しました。今後も革新的な技術・ノウハウを持ち、高い専門性が見込まれる中小企業・小規模事業者を積極的に支援してまいります。

会社名	株式会社 イロラボ	代表者	さかい ひでき 酒井 英樹
所在地	大阪市住吉区杉本 3-3-138 (大阪公立大学インキュベータ内)	業種	測色システムの開発
事業概要	裏面のとおり		
連絡先等	ホームページ https://iro-lab.com/ メールアドレス info@iro-lab.com		

<お問い合わせ先> 日本政策金融公庫 東大阪支店 国民生活事業（担当：酒道、大西）
〒577-0054 大阪府東大阪市高井田元町2丁目9-2 TEL: 06-6782-1324

事業概要

同社が実用化した測色システムは、拡散光照明を高精度で制御することで、機器測色を困難とする原因である光沢成分を抑制し、対象物の色彩と光沢を正確かつ同時に測定するものです。複雑な形状をした物、皮膚やガラス細工など半透明な物、貴金属類など高光沢な物は、従来技術では測定することが難しく、これらの外観検査は、これまで人の眼、目視で行われてきました。他にも時間経過の評価や遠隔での比較は難しいものがありました。同社のシステムにより、いつでもどこでも同じ基準で測定ができ、外観情報のデータ共有・比較・蓄積が可能となり、新たな価値が創造されます。

人の眼の代わりとなる“見え”を数値化する技術は、人々の生活やモノづくりを支えるものであり、目視検査に代わる高精度の外観検査技術として提供される他、ネット通販、デジタルアーカイブ、遠隔医療などに対して、実物を肉眼で観察する際に感じる色彩、質感を正確に再現できる画像の撮影装置として提供されています。

<事業領域>

事業方針:

様々なチャネルの可能性を探り、事業を拡大させていく。



弊社コア技術 = 革新的測色技術

図は同社資料より抜粋